



「平成26年度地域フォーラム」を秋田市で開催  
富山大学受講生サーティフィケート授与

スーパー連携大学院コンソーシアム web ニュース  
2014年10月2日

## 「平成26年度地域フォーラム」を秋田市で開催

スーパー連携大学院コンソーシアムに正会員として参加している6大学が実施している、平成24年度大学間連携共同教育推進事業「産学官協働ネットワークによるイノベーション博士養成と地域再生」の活動経過報告として、「平成26年度地域フォーラム」が秋田市にあるカレッジプラザで開催された。フォーラムのテーマは「全国連携による地域人材育成～それぞれの地域産業活性化のために～」である。会場には、大学、企業、自治体関係者94名が集まり、特別講演2件、事業報告、パネルディスカッションに耳を傾け、積極的な意見交換が行われた。

冒頭、事業推進代表者として電気通信大学 福田喬学長、開催大学代表者として秋田県立大学 小間篤学長がそれぞれ挨拶に立ち、本事業の特徴や今回のフォーラムの意義について述べられた。その後2名の来賓挨拶があった。はじめに文部科学省高等教育局 吉田大輔局長から、大学を取り巻く環境、文部科学省の政策が述べられ、続いて、秋田県 橋口昌道副知事から、秋田県の現状と課題が説明され、その解決として本事業への期待が述べられた。

特別講演1では、国立国会図書館 専門調査委員 調査及び立法考査局 文教科学技術調査室主任である小林信一氏が「大学間連携の多様な展開」について話された。小林氏は、大学や政府系機関で大学間連携を長年研究さ



文部科学省 吉田大輔局長



秋田県 橋口昌道副知事

れると共に各種委員会での政策提言を行っており、それを踏まえ世界における大学連携の多様な形態を、具体例を示しながら解説していただいた。また、「イノベーションの時代はローカルの時代」と話され、ローカルな現実問題は取り組むべき価値があると強調された。

特別講演2では、秋田商工会議所会頭である三浦廣巳氏が「産業活性化のための戦略と人材育成」と題して話された。まず、ご本人の自己紹介があり、その中で秋田の産業を支える企業活動を行うに至った経緯の話があった。秋田県人は、歴史的に失敗を恐れるあまり、なかなかチャレンジをしないDNAを持っていることを、具体例で分かりやすく、しかもユーモアたっぷりに話され、会場が和やかな雰囲気になった。また、「大学の敷居が高い。」と指摘し、これをお互いが如何に下げることが重要であることも強調された。

続いて、本事業推進責任者である電気通信大学 田野俊一教授から、本事業の内容説明と、推進状況及び今後の取り組みについての報告があった。「地域コア」の主体的な活動とそこから生まれる共同研究及び人材育成、さらには新しい共同研究・人材育成の仕組みとしての日本版 Industrial PhD 制度の重要性が示された。



国立国会図書館 小林信一氏



秋田商工会議所 三浦廣巳氏



パネルディスカッションパネリスト

最後は、「地域社会の課題を解決する人材育成」と題してパネルディスカッションが行われた。パネリストは、【室蘭地区】室蘭工業大学 岩佐達郎副学長 教授、【北見地区】北見工業大学 鞘師守知的財産センター長 教授、【秋田地区】羽後設備(株) 佐藤裕之代表取締役、【首都圏地区】電気通信大学 中嶋信生産学官連携センター長 特任教授、(株)オプトエレクトロニクス 志村則彰取締役会長、【富山地区】富山大学工学部 川口清司副学部長 教授、【大分地区】大分大学工学部 氏家誠司教授の 7 名、モデレータは、秋田県立大学 小林淳一理事兼副学長であった。地域コア活動を通して明らかになった各地域での問題点・課題を説明し、求める人材像を述べた。また大学で行われている特徴あるイノベーション人材育成教育プログラム紹介や企業が求める人材の具体的提案がなされた。会場からは、地域で活躍する人材は、技術的スキルを身につけるだけではなく、地域を愛する教育も必要との意見があった。

フォーラム終了後、会場を変え情報交換会が開かれた。はじめにスーパー連携大学院コンソーシアム会長の梶谷誠電気通信大学学長顧問(前電気通信大学学長)から、日本の次代を担うイノベーション博士を育成することが我々に求められており、これからも強力に進めたいとの決意表明があり、この会がスタートした。次に挨拶に立った文部科学省高等教育局 吉田大輔局長からは、本事業が順調に進んでいるとの感想と今後の展開に期待する旨のお言葉をいただいた。その後会に集まった人達の情報交換が活発に行われ、「地域フォーラム」が成功裏に終了した。

## 富山大学受講生サーティフィケート授与

富山大学 片山康太郎さんは、プログラムの修士課程を修了し、イノベーション博士候補サーティフィケートを授与されました。富山大学では、最初のサーティフィケート授与になります。



遠藤学長からサーティフィケートを授与



左から、遠藤学長、片山さん、指導教員の堀田教授